

放課後等デイサービス自己評価表 集計および施設内会議結果					施設名：アプリ児童デイサービス不動前	
自己評価実施職員数：9人					検討会議実施日：平成31年1月10日	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善を要する点の有無 施設内会議での意見	
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	3	2	適切に行っている。 個室が足りない分はパーティションで仕切りを作っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	5		適切に行っている。 マンツー対応のご利用者が多い営業日は人員を増やして対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	3	トイレの段差がやや高めなので、今後は足場を確保したい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	5		朝礼、終礼の際に終礼ノートに記入をして確認した職員からサインを貰っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4		アンケートで取り上げられた改善点から項目に優先順位をつけ実行していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	3		ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	1		適切に行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2	2	管理者、社員、児発管は研修を受けている。 パートに研修の内容を伝えきれていないので、今後は機会を増やしていく。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	2		指導員ひとりひとりから、お子様の状況を聞き、(書式あり)児発管はそれを参考に個別支援計している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	6		使用しているが、あまり職員に浸透していない。

適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	3		SST、外出などの企画は職員でチームを組んで行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	2		2か月に1度、SSTの内容を変更して取り組んでいる。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	3		お子様ひとりひとりに合わせた療育をしている。 ただ、全員のご利用者様には合わせきれていないので今後は全ご利用者様分を揃えたい。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	3		個別で取り組む計画ないよう、集団で取り組む計画内容が盛り込まれている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1		朝礼にて確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			終礼にて確認している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1		毎回、個別経過記録をとっている。それを参考に個別支援計画を作成し、職員に共有する。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	4		その都度、状況が変わるとモニタリングを行っている。また個別支援計画作成時も再度見直す
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4	5		行っている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	4		児発管が参画している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	4	1	下校時間や年間予定等は事前にもらって適切に対応している。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	5	1	現在、医療行為が必要なお子様はいないが、利用されているお子様に関しては最初のアセス、 護者からお聞きしている。

関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	7	1	就学前の関係者に対しては、児童発達支援事業所のご利用している方には情報共有を行って
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	6		一部情報提供は行っている。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	5		半年に1回の期間で情報共有と研修、または特変時の連絡、相談を行っている。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	6	地域のお祭りなどに参加しているが大々的には行っておらず、ご利用者全員には周知されてはお知らせで配布をするか、又はメールでお知らせをする。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		6	3	行っていない。機会があれば参加したい。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1		送迎時、面談時、連絡帳のやりとりで共有ができています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	6	1	ペアレント・トレーニングできておらず、今後研修の一つとして行う。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	2		契約時に行っている。保護者が不明な点は、随時説明している。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	3		送迎時、面談時、連絡帳のやりとりで助言、支援を行っている。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	6	現在は行われていない。今後の企画に入れて計画したい。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			苦情がある場合は、管理者が対応し、必要であれば書面で対応策などをお渡ししている。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1		ブログや、月に1回「アプリ通信」を作成し活動内容をお知らせしている。

	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7	2		注意しているが、職員が帰る際の会話で、子どもの名前を出してしまうことがあるとのことなのをいうことは控える。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1		配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	3	こちらから出向く形で地域のイベントに参加しているので、年に1回はこちらから招待できる企画
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	7		職員は周知しているが、保護者に関しては契約時に口頭でしか説明していない。今後は書面にてお渡りする。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	4		年に3回(2月、6月、10月)の避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	3	1	研修を行っている。 パートに研修内容を伝えきれてないので、今後は終礼ノートにて情報共有を行う。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	4		契約時に説明をしている。個別支援計画には載せていない。今後は身体拘束も踏まうえて
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	2		医師の指示のもと対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	3		共有している。 緊急性があるものは研修時に他の事業所にも情報共有を行っている。

保護者向けアンケートをふまえての改善点・意見など

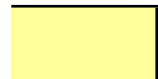
- ・非常時の対応について、ブログやアプリ通信で情報発信を行い始めて「はい」が増えてきましたが、「どちらともいえない」「いいえ」の方がまだいらっしゃるので、引き続き活動内容を公開をしていきたいです。
- ・保護者会等について、「どちらでもない」「いいえ」が多く、「はい」が少ない結果となりました。ただ少なからず保護者会等を開いてほしい保護者様はいらっしゃるので、管理者会議で提案できるように調整したいです。
- ・事業所の支援について、満足している方が大勢いることに感謝しかありません。今後も満足度を下げずに支援を充実させていけるように取り組みます。

。
メント時に保

で、名前など

題を考える。

を作成する。



報等で情報

系を行い、実